

令和2年度三重県厚生事業団事業報告書

1 いなば園の自立経営

三重県いなば園は、障害者総合支援法サービス体系で支援を行い、障がい者支援施設の入所利用率 98.1%等、安定した経営を行った。

障害者支援施設への入所者は6名で、地域から5名（福祉型障害児入所施設から2名含む）、その他1名であった。退所者は5名で、地域移行者2名、病院への入院者1名、その他2名であった。

福祉型障害児入所施設は入所児が5名（内措置3名、契約2名）、退所児は6名で地域移行者が5名、その他1名であった。

2 三重県身体障害者総合福祉センターの指定管理

三重県身体障害者総合福祉センターを、指定管理者として管理運営を行った。障害者支援施設部門は、障害者総合支援法サービス体系で支援を行い、入所利用者の地域移行者は18名で、退所者総数に対する割合（地域移行率）は90.0%であった。

3 第五次中期経営計画の取組

(1) マネジメントシステムの展開

「バランススコアカード」に沿って、所属長のマネジメントシートを用いて、数値目標の設定、情報の共有化、対話による事業実施などの手法により、法人理念に基づいた経営を行った。

第六次中期経営計画の策定を進めるとともに、マネジメント力強化に向け組織マネジメントシート導入準備等を行った。

(2) 利用者、職員アンケートの実施

現状を正確に把握、認識したうえで改善につなげるため、利用者並びに家族、及び職員に対し意識調査をアンケート形式で行った。

対 象	実施日	回 答 数
いなば園 利用者嗜好調査	令和2年11月	150/150名(100%) ※職員代筆含
いなば園 利用者アンケート	令和2年12月	194/194名(100%) ※職員代筆含
いなば園 家族アンケート	令和2年12月	102/168名(60.7%)
身障センター 利用者アンケート	令和2年8月 令和3年2月	79/110件(71.8%) 75/103件(72.8%)
事業団職員アンケート (Webアンケート)	令和2年11月	151/186名(81.2%)

(3) 人材育成の取組

令和2年度採用職員を対象に4月1日、7月1日に「新入職員研修」、10月7日に「採用後6か月研修」、専任職登用職員を対象に4月9日に「専任職登用時研修」、採用後2年目の職員を対象に9月9日に「中堅職員研修」を実施した。また、新たに管理職に任用された職員を対象に6月23日に「課長・寮長昇格時

研修」「副寮長昇格時研修」を実施した。他に「人権研修」「組織マネジメントシート作成に向けてのワークショップ」「サービス管理責任者研修」「決算説明会」等を行った。

社会福祉士等の資格取得者に対する奨励金の支給、試験やスクーリングの日に特別休暇を付与する等の資格取得支援を実施した他、人事考課制度の考課結果に基づき、3月賞与を支給した。

4 法人の運営

(1) 理事会の開催

法人の事業報告、収支決算及び事業計画、予算等について審議するため理事会を開催した。

	開催期日	審議内容
第109回理事会	令和2年5月27日	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告及び決算の承認について 令和2年度定時評議員会の招集について 令和2年度定時評議員会の議案及び報告の提案について 評議員選任・解任委員会委員の決定について 評議員選任・解任委員会の決議の省略について 評議員候補者の推薦について 諸規程の改正について 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告
第110回理事会	令和2年6月18日	<ul style="list-style-type: none"> 理事長の選定について 業務執行理事の選定及び業務について
第111回理事会	令和2年9月10日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> 諸規程の改正について
第112回理事会	令和3年3月23日	<ul style="list-style-type: none"> 第六次中期経営計画の策定について 諸規程の改正について 令和2年度補正予算について 令和3年度事業計画及び予算について 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

(2) 評議員会の開催

	開催期日	審議内容
令和2年度定時評議員会	令和2年6月18日	<ul style="list-style-type: none"> 定款の変更について 役員の選任について 令和元年度決算の承認について

(3) 監査

事業執行状況の監査が行われた。

監査実施者	期日	監査内容
法人監事	令和2年5月20日	令和元年度事業及び決算監査
外部監査	令和2年9月2、3、4日	令和元年度決算監査

(4) 経営会議

法人の具体的経営方針を決定するため、理事長、常勤理事及び施設長、事務局長による経営会議を年間23回開催した。

(5) 施設の経営

①稼働率

	事業	事業所名	定員	稼働率	指定（開設）年月日
いなば園 (昭和52年開設)	施設入所支援事業所	すぎのき寮 かしのき寮 もみのき寮	40名 40名 40名	98.1%	平成20年3月1日
	一体型共同生活援助事業所	ドリームハウス レインボーハウス ひだまりはうす こもればはうす	4名 4名 8名 7名	99.4%	平成18年10月1日
	多機能事業所 ①就労継続支援B型 ②生活介護	工房いなば	①20名	74.5%	平成19年4月1日
			②11名	94.2%	平成21年4月1日
	①生活介護 ②短期入所(単独型)	スマイルいなば	①20名	71.4%	平成28年4月1日
			②10名	88.3%	
	福祉型障害児入所施設	くすのき寮	30名	94.9%	平成24年4月1日
多機能事業所 ・児童発達支援 ・放課後等デイサービス	プリズム	10名	82.4%	平成23年5月1日	
身障センター (昭和60年開設)	身体障害者福祉センターA型	三重県身体障害者 総合福祉センター	—	貸出施設 年間延利用者 21,165人	昭和60年4月1日
	施設入所支援事業所		40名	93.0%	平成18年10月1日
	生活介護事業所		8名	21.3%	
	機能訓練事業所		32名	84.5%	
	生活訓練事業所		14名	88.2%	
	就労移行事業所		6名	55.6%	

②みえ福祉第三者評価事業

工房いなば（就労継続支援B型・生活介護）が、みえ福祉第三者評価事業の評価を受け、課題の改善に取り組んだ。

(6) 主な各種事業

①地域の障がい児等支援体制機能強化事業（いなば園）

県から福祉型障害児入所施設への委託を受け、施設内に児童発達支援コーディネーター2名を配置し、①多障がい等対応地域支援②早期専門対応地域支援③地域の障がい児等支援の取組の拡充の業務を行った。

②伊賀市相談支援事業（いなば園）

伊賀市から障がい者（児）のケアマネジメント及び相談支援業務を受託し、職員1名が専任した。（相談支援対象者430名）

③三重県高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業

（身体障害者総合福祉センター）

高次脳機能障がい者及びその家族の地域生活を支援することを目的に、相談

支援、関係機関との支援ネットワークの充実及び支援関係者を対象とした研修を開催した。(相談支援対象者 103 名)

④三重県障がい者スポーツ推進事業 (身体障害者総合福祉センター)

令和 3 年開催の第 21 回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」に向け、障がい者スポーツ選手・団体の育成・強化・競技力の向上、指導員・審判員等の養成、障がい者スポーツ普及啓発等を行った。

前年度に引き続き「三重とこわか大会」に向けて、育成指定した選手を対象に各競技団体にて育成指定練習会を行った。

⑤英国パラスイミングチーム事前キャンプ受入業務
(身体障害者総合福祉センター)

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催延期に伴い、英国パラスイミングチームの事前キャンプは延期となり、トレーニング機材等の保管業務のみを行った。

⑥三重とこわか大会競技役員等養成業務 (身体障害者総合福祉センター)

審判員の資格維持、資質向上を図るため、中央競技団体が主催する大会等への派遣や競技団体講師等による県内講習会、大会運営能力の強化及び障がい者スポーツへの理解向上のため、先進県の競技団体、会場地の現地調査・視察や研修会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の実施となった。